

# 講題「もう済んだと思ったが、 まだ始まっていなかった」

武田定光さんは、著書『もう済んだと思ったが、まだ始まっていなかった』の中で、これからは親鸞聖人が言わなかったことを言わなければだめですよと述べ、聞法は創造活動であるとの視点から、時代を鋭く見すえ、あたらしい親鸞像を提供しつづけています。そのエッセンスを、あたらしい真宗の創造という武田氏のダイナミックな発想でお話をいただきます。真宗の寺院に元気がないと言われる昨今、あらためて私たち真宗の僧侶の課題に目を向け、真宗の教えをいただき直す契機となるよう研修会を開催いたします。

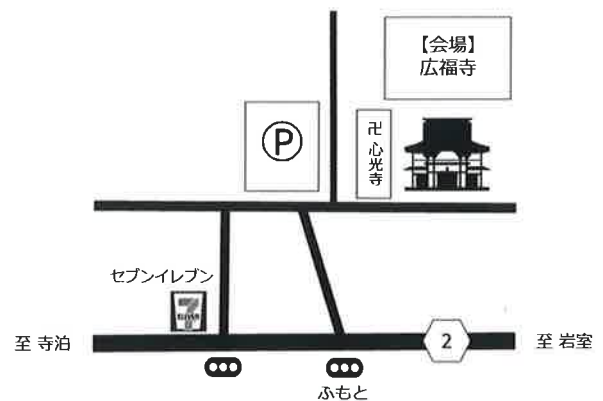


**日時** 2018年12月4日(火) 14:00～16:30(13:30 受付)

**会場** 弥彦 広福寺「本堂」  
(西蒲原郡弥彦村麓 6590 TEL0256-94-2437)

**講師** 武田定光(たけださだみつ)さん  
(真宗大谷派 東京都江東区 因速寺住職)

プロフィール：1954年東京都生まれ。大谷大学文学部博士課程修了。元親鸞仏教センター嘱託研究員。お寺で「ご命日の集い」や「ブッディサロン」などの法座を開くほか、首都圏で親鸞講座(『歎異抄』のこころに学ぶ)の講師を担当。



参加無料

## 【申し込み方法】

下記参加申し込み欄にご記入の上、2018年11月20日までに各宗派教務所(組長事務所)へお申し込みください。

### <真宗教団連合新潟県支部寺院研修会参加申込欄>

寺院名	名前	備考
寺		
寺		
寺		